



優秀賞 (総合部門)

タイトル

通りぬける家

タイプ

持家一戸建

講評

中庭を中心にした二世帯住宅。玄関から中庭に至る廊下の雰囲気や、広々としたリビングは気持ち良さそう。面積に余裕があることが大きいですが、全体に手堅くまとまっている。中庭を使う暮らし振りも見せてほしい。

リフォーム前後の写真



既存リビング ㉔



既存1階キッチン ㉕



①



⑤



⑨



②



③



④



⑥



⑦



⑧

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

親世帯・娘夫婦とその子供、計7人が暮らす二世帯住宅である。家を建ててから24年の間にライフスタイルにも変化が訪れ、老後の事も考えて、2階に親夫婦・1階に娘夫婦という生活の場を上下入れ替えることがリフォームの動機となった。工事は工程を4回に分けて、住みながら行った。

暮らしの多くを占める1階は生活にある種の刺激を与える中庭という空間を動線を中心に備え、回遊性を持たせながら各スペースを整理し直した。その中庭を介して「光」「風」「視線」が家の中を通りぬけ、どの場所においても、他の場所にいる人

の気配が感じとれるようになった。家族みんなが安心できる、広がりを持った家に生まれ変わった。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他()

データ			
所在地	神奈川県川崎市	構造 / 築後年数	在来木造 / 24年
該当工事面積	210.41 m ²	該当部分工事費	2,400万円
居住者構成	7人 (大人 15歳以上 4人 子供 3人) ペット		
設計者	K2 - Foundation	担当者	板垣 香織・河原崎 和也
施工者	(株)北澤建設	担当者	早坂 裕美子

リフォーム前



リフォーム後

